

2026 年 9 月 1 日

各 位

会 社 名 オーウエル株式会社
代表者名 代表取締役社長 川戸 康晴
 (コード：7670 東証スタンダード市場)
問合せ先 執行役員 秋谷 浩史
 (TEL 06-6473-0138)

JAL（ボーイング 767 型機）へのリブレット形状塗膜施工に関するお知らせ

オーウエル株式会社(本社：大阪市西淀川区、代表取締役社長：川戸 康晴、以下「オーウエル」)は、日本航空株式会社(本社：東京都品川区、代表取締役社長 グループ CEO：鳥取 三津子、以下「JAL」)、と共に JAL のボーイング 767-300ER 型機（JA623J）の機体胴体部分に、リブレット（※1）形状塗膜を初めて施工し、2026 年 8 月より運航を開始しました。



今回の施工箇所（図はイメージ）



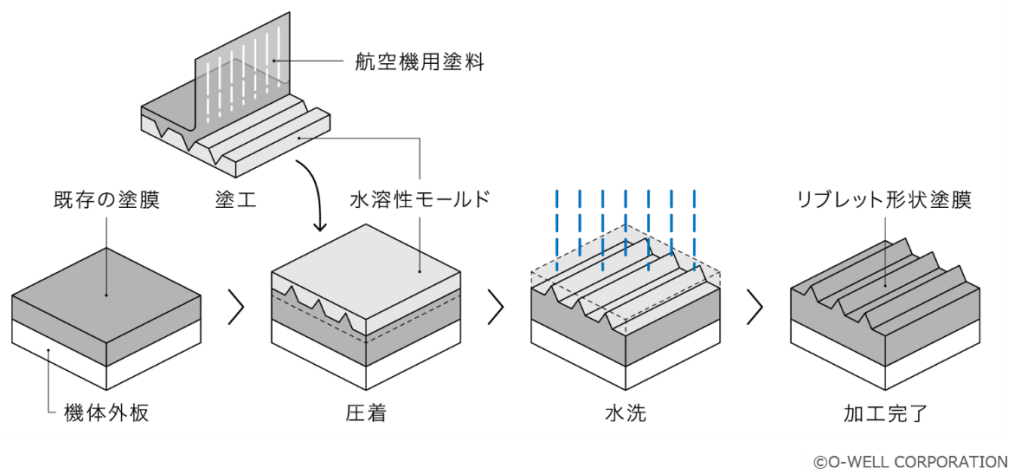
今回施工した JAL ボーイング 767-300ER 型機（JA623J）（左）と施工箇所（右）

JAL のボーイング 767-300ER 型機は主に国内線や短中距離の国際線で運用されています。今回のリブレット形状塗膜の施工は、767-300ER 型機の機体に初めて実施したもので、当社の「Paint-to-Paint Method」(※2)を用いて機体外板にリブレット形状塗膜を施しました。

今後も、リブレット形状塗膜の施工機体や施工範囲のさらなる拡大に取り組み、航空機の脱炭素化を一層推進してまいります。

- (※1) サメ肌形状によって水の抵抗が軽減されることにヒントを得て考案された微細な溝構造。航空機の飛行時の空気の流れに沿って機体外板に微細な溝構造を形成することで、飛行時の抵抗を軽減することができる。
- (※2) 既存の塗膜上に、水溶性の型で塗膜に凹凸を形成する手法。オーウェルおよび国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構（JAXA）の共同特許（特許第 6511612 号）。塗膜に直接リブレット形状を施工するため、デカールやフィルムによるリブレット加工と比べて、重量の軽減や耐久性の向上が期待できる。

Paint-to-Paint Method



以 上